

参議院宮崎県 選出議員選挙

選挙公報

平成25年7月21日執行
宮崎県選挙管理委員会

再び、地域から。

道休誠一郎は、皆さんのQ(質問や疑問)を解決するために、全力でDo(仕事)し続けます。
Do(働く政治家、動く政治家・道休誠一郎の考え方です。)

Q どうやって日本を元気にするの?
Do 地域の活性化による日本再生を実現します

少子・高齢化と経済のグローバル化により日本社会は長年に亘り景気の低迷と不安定に覆われています。大都市、大企業、製造業(2次産業)を成長エンジンとして工業化に成功した日本ですが、成熟社会の成長は既存の産業だけでは対応出来ません。地方、中小企業、農林水産業(1次産業)を新たな成長エンジン(6次産業化)として活性化させるために、人・モノ・カネを投入することが必要です。安全で高品質、美味しく安心して食べることの出来る日本の農林水産品の市場を開拓することが必要です。世界市場での販路拡大を実現し、関連産業分野を含め新規就労者の増加を目指します。地方での人口定住を可能とする政策を策定し実行します。(農業所得補償制度等)豊かへの安らぐ農村に都会の利便性を加えることで、人口移動を実現します。道路の整備やIT技術の活用により、情報格差をなくすると共に生産性の向上を目指し革新的な農業を担う人材の育成を行います。

Q エネルギー政策の方向性は?
Do 再生可能エネルギーの活用

原子力の平和利用によって我々の生活は豊かになりましたが、東日本大震災による津波によって大きな事故が発生しました。福島原発事故の教訓を今後のエネルギー政策に反映すべきです。今後は再生可能エネルギーの太陽光・風力・バイオマスなどを活用し、エネルギーの多様化を本格的に推進して参ります。

Q 格差社会によって子供の教育格差が広がっているよ。
Do 公的教育の再編を行う必要があります

格差社会の中で教育を受ける機会がなくなりつつある子供達がいて、公的教育の再編を行う必要があります。グローバル化が進む現在、内向き志向の若者が増えていると聞かれますが、語学の習得を含め国際社会で活躍出来る人材の養成も喫緊の課題です。

Q 選挙制度を見直すべきとの声もあるよね?
Do 公職選挙法の改正を行います

「一票の格差」の是正を含め現行の選挙制度及び選挙手続は問題を抱えています。人口の偏在やインターネット等の普及に対応した公職選挙法の改正を行います。

道休誠一郎 宮崎事務所
〒880-0035 宮崎市下北方町下1-7
TEL.0985-55-0166
FAX.0985-55-0585

政策など詳しくはWEBで
道休誠一郎事務所 検索 携帯はこちらから▶▶
(ホームページ)http://www.s-dokyu.jp (メールアドレス)info@s-dokyu.jp (facebookページ)道休誠一郎事務所



民主党 道休誠一郎

安倍政権の暴走ストップ 「国民が主人公」の政治を

「財界中心」「アメリカいなり」「歴史逆行」——自民党政権の三つのゆがみにメスを入れてこそ、みなさんが願う方向に政治がかわります。

日本共産党と私・来住一人は安倍政権の危険な暴走と対決し、「国民が主人公」の改革へみなさんと力をあわせて参ります。

歴史 過去の侵略戦争を肯定・美化する改ざん・逆行許さない

原発 再稼働・輸出反対 即時原発ゼロへ

外交 TPP・オスプレイ「フ」 安保条約をなくして 対等の日米関係へ

憲法 「戦争はしない」「軍隊はもたない」 9条を守り生かす

社会保障 年金・生活保護の削減中止 高齢者も現役世代も安心

景気 消費増税を中止し 大企業と 雇用の安定を 賃上げと雇用の安定を



日本共産党公認 来住一人

◇プロフィール◇
昭和20年都市部に生まれる。68歳。小松原中卒。フォーカス硝子労働委員長。18歳で日本共産党入党。東北農民組合書記長。昭和60年都市部へ転居。不公正な同和行政、ムダな開発を追及するとともに、くらしや福祉を守るため建設的提案をおこなう。2012年衆院宮崎3区に立候補。現在党国政対策委員長。都市部乙房町在住。家族は妻と2人。

「自共対決」こそ真の対決軸です

6月の都議選で、日本共産党は、議席を倍増し、第3党に躍進しました。安倍政権の暴走に正面から対決し、国会のなかで「増税連合」「改憲連合」に対して国民とともにたたかって参ります。

比例代表は「日本共産党」とお書きください

1 地方が豊かになる 地方分権を推進します!

今までの地方分権は、国の経費削減のための「リストラ」の色合いを帯びていました。財源に裏付けられた自由な裁量権を自治体の「固有の権利」として発揮できるようにすることで、豊かな地域づくりを促進します。

2 実感の持てる地域経済の 活性化を創出します!

農林水産業・小規模事業者など地域経済は、いくらか平均値が上がっても実感を抱いていません。都市と地方とでは産業構造が大きく異なっているためです。実体経済を再生させるため地方の経済構造に適した政策を推進します。

3 防災減災・危機管理体制を 構築します!

南海トラフ巨大地震への備えをはじめ、防災減災は国民挙げて取り組むべき喫緊の課題です。特に本県は甚大な被害が想定されており、一刻も早い対策が急がれます。ハード・ソフト両面の対策を進め、さらに常設の危機管理機関の創設を提言します。

4 持続可能な社会保障制度を 構築します!

世界に誇る国民皆保険を堅持し、国民に信頼される社会保障制度を目指します。受益と負担のバランスがとれた持続可能な制度を構築し、消費税は社会保障財源とします。良質なサービスを堅持するため医療・福祉・子育てに過度な自由競争の導入は認めません。

5 道徳心と創造性豊かな 人材育成を推進します!

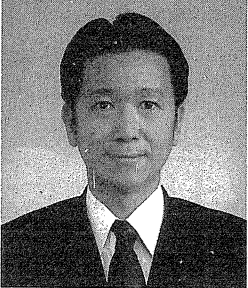
東日本大震災の際に多くの人が感動した、日本が世界に誇る道徳心をはぐくむ教育を充実強化していきます。社会に貢献できる規範意識と積極性を持つ子供を育て、内向き志向を打破し創造性豊かな人材を育成する体制づくりを推進します。

6 生命と領土を守り 世界の平和に貢献します!

国民の生命・領土を敢然と守り抜き、自由人権思想や法の支配という普遍的価値を世界へ普及させる役割を我が国が担ってゆくべきと考えます。公正公平なルールの下で共存共栄による世界平和を維持するリーダーとして、日本が世界に貢献すべきです。

いつも最前線!! 都城市長としての実績

サブシティ構想 サブシティ構想を掲げ、医療ゾーンと雇用ゾーンの創出を推進しました。
企業立地 46社の企業立地を実現し、新規雇用3013人を創出した。有効求人倍率は県内トップクラスです。
行財政改革 行財政改革を断行し借金を136億円、職員252人を削減しました。
観光振興 スポーツ施設の誘致数を増加させ、観光振興に努めました。



自民党公認 ながみね まこと 誠

プロフィール
平成24年 参議院宮崎県選挙区
平成16年 都城市長(通算3期)
平成9年 宮崎県議会議員(通算3期)
平成7年 参議院議員秘書
早稲田大学政治経済学部政治学科卒業
早稲田大学雄弁会幹事長
参議院議員秘書

こうの一郎

3つの挑戦で、宮崎県をもっと元気にします。

1 愛しているなら 国を守ろう

●憲法9条を改正し、隣国の脅威から日本を守ります。
●日米同盟を基軸としつつ、自主防衛力の強化に取り組みます。
●改憲や国防の足かせとなる自虐史観を払拭します。

2 消費増税中止で、 もっと強い経済へ

●消費増税は中止します。日本経済の再建に必要なのは増税ではなく経済成長です。
●「200兆円未来国家建設プラン」により、高度経済成長を実現します。
●法人税の大幅減税で企業を元気にし、働き口と収入を増やします。

3 老後もイキイキ! 生涯現役社会

●高齢者の雇用や活躍の場を拡大し、もっと長寿を楽しめる生涯現役社会をつくれます。
●相続税・贈与税の廃止などによって家族の絆を強め、老後の不安をなくします。
●地域の絆を強化し、高齢者にとって住みよい街づくりを推進します。

国防強化! 消費増税中止! 生涯現役社会!

挑戦しよう、日本。 幸福実現党

幸福実現党 公式ウェブサイト http://www.hr-party.jp/ こうの一郎 公式ブログ http://ameblo.jp/konoichiro
こうの一郎 1986年3月 宮崎大学教育学部 卒業 1987年4月 創立白鳥学園中学校 勤務 1991年6月 衆議院議員選挙 幸福の科学 入局
プロフィール 2013年1月 幸福実現党宮崎県本部 参議院選挙区代表 (現職 幸福の科学 日向支部支部長)



こうの一郎 幸福実現党

生年月日:1959年11月21日
出身地:宮崎県宮崎市
最終学歴:宮崎大学教育学部
主な経歴:幸福の科学 日向支部支部長

比例は「幸福」とお書きください